

第1部 鶩見 恵理子ヴァイオリンコンサート

ヴァイオリン 鶩見 恵理子 *Eriko Sumi*

祖父鶩見三郎をはじめ、両親共にヴァイオリニストという文字通りヴァイオリン一家に生まれる。ルクセンブルクのロイヤル・ファミリーの前で演奏する。ジュリアード音楽院にてD・ディレイに師事。ミケランジェロ・アバド国際音楽コンクール優勝。近年同コンクール審査員を務める。アリーチェ・ベル・国際音楽コンクールにて優勝。東京交響楽団、新日本フィルハーモニー、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京モーツアルトフレーヤーズ、ボーランド国立管弦楽団、ソフィア・フィルハーモニー、ハンガリー・ヴィルトーゾ・オーケストラ、サンレモ・シンフォニー・オーケストラ、ワインカ梅ラータ・シュルツ等国内外の主要なオーケストラと共に演奏やアーティストとアメリカやヨーロッパの主要なホール(サントリー・ホール、東京オペラシティ・タケミツ・メモリアル・ホール、東京国際フォーラム、上野東京文化会館大ホール、紀尾井ホール、軽井沢大賀ホール、福岡アクロスホール、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール等)にて共演を重ねた後ミラノ・ウェルディ音楽院大ホールにてオーケストラ・アカデミア・デレ・オペレとバガニーニの協奏曲第1番を共演してデビューし大きな注目を集め。近年ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルの国内ツアーソリストとして同行し横浜ゼリステンとチャイコフスキーの協奏曲を弾き振りで共演し好評を博す。ミラノにてトレッタ賞受賞。R・ムーティ音楽監督のイタリア・コルティナ・ダンペッオにおけるディノ・チャーニ音楽祭に出演した後ミラノ王宮でのシーズンオープニングコンサートにてバガニーニのカプリスの24全曲演奏を行い同プログラムで国内ツアーを行う。ニューヨーク・カーネギーホールにてデビューリサイタルを行う他、ニューヨークのエブリ・フィッシュホール、アリス・タリー・ホール、ヨーロッパではソフィア・フィルハーモニー・ホール、ブダペスト国際会議場にて日本人として初めて演奏し、ブルガリア人民宮殿にて5,000人の観客を前に演奏した模様が国営放送にて中継される等各国のテレビ・ラジオ番組に出演。2011年鳥取ふるさと大使に就任。ブルガリア最高峰のソフィア・フィルハーモニーとの共演で、バガニーニ、サラサーテなどの小品集を収録した、「アバッソナート・ヴァイオリン」がリリースされ好評を得て「レコード芸術」推薦盤に推薦される。世界的ヴァイオリニスト、イーブリー・ギトリス、ロビー・ラカトシュ、英國コヴェントガーデン・ロイヤル・オペラハウスコンサートマスターのバスク・バッシリエフとの共演し好評を博す。テレビドラマ(林真理子原作不機嫌な果実)に出演するほか、テレビ朝日<「激アレさん」>を連れてきた。>日本テレビ<「しゃべくり007」>、<「恋するクラシック」>、関西テレビ<「マルコボロリ!」>等に出演。近年、桐朋学園子供のための音楽教室にて指導。



©岡村啓嗣

ピアノ 多川 韶子 *Kyoko Tagawa*



京都市立芸術大学音楽学部卒業および同大学大学院音楽研究科修了。ドイツ・ドレスデン音楽大学卒業。在独中にはドイツ、ポーランドで様々な演奏会に出演する。第9回宝塚ベガ音楽コンクール入選。コントラバス奏者サンデル・スマランデスク氏と行なったデュオリサイタルに対し2002年度バロックザール賞受賞。これまでに小原久幸、馬場和世、上野真、ペーター・レーゼル、田崎悦子に師事した。毎年積極的にソロリサイタルを行い、特に2009年から2011年に大阪・京都で開催した全9回シリーズ「ベートーヴェン・ピアノソナタ完全曲演奏会～35のソナタ～」は日本経済新聞をはじめ、各紙に取り上げられ好評を得る。ヨーロッパ、アジアをはじめ国内外のオーケストラとも数多く共演。室内楽の分野においてもドレスデンフィルハーモニー弦楽三重奏団やNHK交響楽団首席メンバー、国内主要オーケストラのコンサートマスターなど国内外数多くの演奏者との共演を積み重ねている。2017年より長野・飯綱高原で行われている室内楽マスタークラスの講師として室内楽奏者の育成にも積極的に取り組んでいる。また近年ではサロンコンサートの企画プロデュースも手掛け、多くの演奏者を招聘、自身も演奏する形で年間20回程度開催している。現在、京都市立京都堀川音楽高校、滋賀県立石山高校音楽科非常勤講師。

第2部 ジュニアストリングス

ジュニアストリングスは、ヴァイオリンを習い始めて間もない人から、長く練習に励んでいる人まで、幼児から高校生を対象に募集し、集まつたメンバーで構成されています。7月から各自で練習を開始し、11月から合同練習に入っています。様々な学年、演奏経験のメンバーが、少ない練習時間の中でも協力し合って練習に励んでいます。メンバーの息の合った演奏にご期待ください。



第3部 米子ユースオーケストラ

学校や音楽教室の枠を超えて編成している米子ユースオーケストラは、中学生から高校生を中心とした約50人のメンバーで演奏します。今年度の演奏曲は、歌劇「オペロン」序曲と、プロードウェイで長く公演されている名作ミュージカル「レ・ミゼラブル」の劇中曲のメドレーです。代表曲「夢やぶれて」、「民衆の歌」も演奏します。未来にはたく若き演奏者たちの清々しい演奏をぜひお聴きください。

鶩見三郎顕彰事業

米子市では、わが国の音楽教育に多大なる貢献をなされたヴァイオリン教育者である鶩見三郎の功績を顕彰するため、米子市文化ホールの開館を機に平成4年度から様々な事業を実施しています。鶩見三郎は明治35年米子市尾高町に生まれ、独習でヴァイオリンに打ち込み、大正13年22歳で上京し、新交響楽団(現在のNHK交響楽団)でヴァイオリン奏者として活躍され、昭和59年82歳で亡くなるまで「千住真理子、佐藤陽子、和波孝穂、徳永二男、澤和樹など日本の著名なヴァイオリニストのほとんどが鶩見三郎の門下生」といわれるほど傑出したヴァイオリン指導者として我が国の音楽界をリードしてござりました。鶩見三郎生誕の地米子で、「文化の香り高いまち・弦楽のまち米子」を目指し音楽文化の振興を図るため、鶩見三郎顕彰事業の一つに、地元の青少年で構成された「米子ユースオーケストラ」「ストリングジュニア(現ジュニアストリングス)」を組織しました。所属の学校や音楽教室などの演奏団体の枠に限らず、幼児・小・中・高・大学生たちの世代を超えたオーケストラを編成し発表会を行うことにより、新たな交流を生み地域音楽文化の広がりと、若手音楽演奏者の育成を行っています。



2021年演奏会メンバー募集

あなたも「米子ユースオーケストラ」「ジュニアストリングス」のメンバーとして活動してみませんか?次年度の演奏会(2021年3月)と一緒に演奏しましょう!詳しくは米子市文化ホールまで。

お問い合わせ

米子市文化ホール
TEL.0859-35-4171
米子市末広町293番地 www.yonagobunka.net/culturehall/